

## 平成23年度カンキツグリーンング病研究会

### 開催要領

新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「クリーンな産地維持に向けたカンキツグリーンング病の再侵入・定着阻止技術の開発」成果発表会

#### 1. 趣旨

グリーンング病はカンキツの難防除病害で、世界中のカンキツ主要栽培地域で猛威を振るっている。日本では、1980年代に沖縄県西表島への侵入以降、奄美地方まで北上している。また、本病害の媒介虫ミカンキジラミは九州本土に到達している。これまで、本病害の一斉防除や緊急防除により、一時的ではあるが本病害が抑制された地域もある。今後は、これらの地域をクリーンな状態で維持するため、キジラミの再侵入・定着を最小限の薬剤散布で阻止する技術や、再発した罹病樹をできる限り早く発見し、抜き取る技術の開発が求められている。そこで、本研究会においては、新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「クリーンな産地維持に向けたカンキツグリーンング病の再侵入・定着阻止技術の開発」で実施された研究の成果を総括し、今後の防除体系の構築やさらなる高度な防除を目指した研究開発の参考とする。

2. 開催日：平成24年2月3日（金） 13:00～17:00

3. 場所：つくば国際会議場 小会議室405  
茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

4. 主催：独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所

#### 5. 研究内容

13:00～17:00：（事前登録は不要ですが、出席者名簿に記載が必要な方は事前に下記要領でお申し込み下さい）

##### 課題内容（仮題）

- (1) 産地の周辺環境における感染源のリスク評価と保毒虫の飛込の危険性予測  
(独)農研機構 果樹研究所 上地奈美
- (2) 伝搬能力の高い媒介虫の発生条件の解明  
(独)農研機構 果樹研究所 井上広光
- (3) 次世代シーケンサーによるゲノム情報の解読  
(独)農研機構 果樹研究所 宮田伸一
- (4) 鹿児島県における再侵入・定着阻止技術の開発  
鹿児島県（調整中）

(カンキツグリーンング病)

(5) 沖縄県における再侵入・定着阻止技術の開発

沖縄県（調整中）

(6) 特別講演 ベトナムにおけるグリーンング病の IPM 防除

国際協力機構専門家 湯浅一充

6. 参集範囲

農林水産省、独立行政法人研究機関、公立研究機関、大学等

7. 出席申し込み

会議当日に配布する出席者名簿に記載が必要な方は、別紙申し込み用紙またはメールにて、果樹研究所 品種育成・病虫害研究領域 岩波 徹 あて 平成23年12月22日までに申し込み下さい。なお、当日参加も受け付けます。